



地域と連携した避難訓練が各地で行われました

今月、各地域で自治体の総合防災訓練が行われ、地域住民と災害発生時の対応を共有した学校がありますので、その取組を紹介します。

各学校においても、災害発生時に地域住民と連携した対応ができるよう、今後の計画立案の参考としてください。

涌谷町総合防災訓練への参加

涌谷高等学校

水害を想定した涌谷町総合防災訓練が、同校を会場に行われた。学校周辺の6行政区の地域住民が参加し、町災害対策本部が置かれた。同校の体育館を避難所として開設したほか、涌谷高生35名（うち30名は県防災指導員の認定を受けた生徒）が参加した。

訓練では、行政区長とともに、涌谷高生が受付や避難者誘導を行った。

また、災害FM被害状況伝達の訓練として、涌谷高生が被害状況をラジオで発信した。その他、段ボールベッド設営や応急救護訓練、災害伝言ダイヤル体験に涌谷高生も地域住民とともに参加した。



石巻市総合防災訓練への参加

石巻市立青葉中学校

津波を想定した石巻市総合防災訓練に、同校は出校日として参加した。午前には、自宅でシェイクアウト訓練を実施後、居住地区の訓練に参加した。午後は、学校でJアラート発表時の対応等の防災学習を行った。

また、同校には、避難所として地域住民（同地区居住の青葉中生、釜小生）が避難し、同校生徒が避難所受付や誘導を手伝ったほか、地域住民とともに簡易担架訓練等を行った。



地域の災害特性に応じた避難訓練も各地域で実施されましたので、紹介します。

最大級の津波を想定した避難訓練

石巻市立鹿妻小学校

県が本年5月に公表した最大級の津波を想定した避難訓練を行った。校舎は2階の一部まで浸水する可能性があり、より安全な鹿妻山に避難する方向で見直しを進めており、約800m離れた鹿妻山への避難経路を避難訓練を通じて実際に検証した。



土砂災害を想定した避難訓練

岩出山高等学校

同校は、学校周辺の斜面が土砂災害警戒区域となっており、本年7月の大雨では、この斜面が崩落し、通学路を塞ぐほどの甚大な被害を受けた。このような被害を踏まえ、斜面から離れた北側校舎4階への避難訓練により課題を検証した。



『自転車安全利用五則』を知っていますか？

今般、全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用の努力義務化を内容とする道路交通法の改正が行われたところであり、これを機会に、自転車に関する交通秩序の更なる整序化を図り、自転車の安全利用を促進するため、令和4年11月1日中央交通安全対策会議交通対策本部において、自転車の交通ルールの広報啓発に当たり、以下の「自転車安全利用五則」を活用することになりました。

- 1 車道が原則，左側を通行 歩道は例外，歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って，安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



この「自転車安全利用五則」を活用して、交通安全教育等の機会に自転車の交通ルールを周知ください。

なお、児童（6歳以上13歳未満）、幼児（6歳未満）は、自転車で歩道を通行することができることから、歩行者に十分注意して歩道を通行するよう、発達段階や道路環境を考慮した指導をお願いします。（道路交通法第63条の4第1項）

【参考】

文部科学省では、「北朝鮮から発射された弾道ミサイルによる全国瞬時警報システム（Jアラート）の発信を受け、Jアラート情報に関するページ」を作成しています。

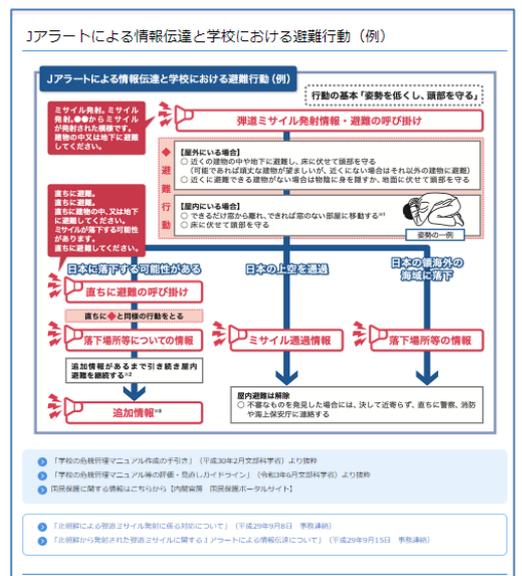
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/jalert/index.html>

Jアラートによる情報伝達と学校における避難行動（例） →



文部科学省等が公表しているJアラート情報に関連する資料がまとめられています。

各学校の危機管理マニュアルの見直しに活用ください。



宮城県の国民保護について

宮城県のホームページには、「宮城県の国民保護」について掲載されています。国民保護法に基づく避難施設等も掲載されておりますので、併せて参考にしてください。

【掲載先】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kikisom/km-kokuminhogo.html>



■宮城県教育委員会では、「弾道ミサイル対応のマニュアル例」を作成しています。

↓こちらからダウンロード可能（Word形式）です。

みやぎ学校防災ポータルサイト「みやぼう」参考様式内に掲載

https://www.pref.miyagi.jp/site/gakkou-anzen-bousai/youshiki_minaoshi.html

